

現在、メキシコでは殺人・強盗・誘拐・トラックジャックなどの凶悪犯罪の発生数が過去数年で最も高まっており、治安の悪化が懸念されています。今号ではメキシコにおける凶悪犯罪の発生傾向および背景と、物流への影響についてお届け致します。

1. メキシコにおける犯罪の最新状況

メキシコ国内の犯罪発生に関する統計指標は今年に入って軒並み悪化しており、メキシコ政府として治安対策が急務となっています。2016年の殺人件数は前年から23%上昇し、22,932件となりましたが、2017年にはさらに上昇し1月-3月の四半期でも前年同期比で32.9%増の6,511件となっています。3月単月の殺人件数に限れば統計が開始されて以来最多の2,256人となっており、麻薬カルテル間の抗争や犯罪組織と軍の銃撃戦に巻き込まれるなどして一般市民にも被害が及んでいる状況です。また、2017年1月-3月の強盗被害は前年同期比28.7%増、誘拐被害は8.7%増となっています。犯罪組織による身代金目当ての恐喝の手段も多様化しており、誘拐による身代金要求だけでなく、海外企業のオフィスへの銃撃や放火も確認されています。

日本国外務省の海外安全情報では、メキシコ内の複数の都市の警戒レベルが引き上げられており、ゲレロ州、チワワ州フアレス市、タマウリパス州マタモロス市・レイノサ市などでは警戒レベル2の「不要不急の渡航の中止」が呼びかけられています。



メキシコの主な警戒レベル2エリア(地図: Google Map)

2. メキシコの治安が悪化した背景

カルデロン前大統領が軍を動員した大規模な麻薬犯罪撲滅運動では約6万人の死者が出ましたが、エンリケ・ペニャクエト現大統領も麻薬犯罪撲滅・警察組織の改革・汚職の排除を強く宣言し、2012年の就任以降、指名手配されていた凶悪犯罪者のうち約80%が逮捕または殺害されたと言われており、犯罪の発生は減少傾向にありました。

しかし、麻薬カルテルや犯罪組織のトップが次々と逮捕されたことで、犯罪組織は無数に小さな組織へと枝分かれし、それぞれが独立して活動することで犯罪発生地域が急速に拡大、2015年以降は犯罪件数が再び増加に転じています。そもそもメキシコでは多くの犯罪被害が通報されないため、実態としては当局の統計数値を上回る件数の犯罪が発生していると推測されます。



3. 物流への影響

メキシコにおける貨物盗難事故の半数以上は陸上輸送中に発生しており、犯罪組織は情報網を駆使してトラック走行地点を特定し、主には高速道路・ガソリンスタンド・駐車場で夜間から早朝に襲撃しています。標的となる貨物の約 23%は食飲料品、16%は燃料で、転売が容易な貨物が襲撃の標的される傾向にあります。これら盗難事故の対策として、(1)輸送は日中に限定する、(2)計画された駐停車以外行わない、(3)輸送計画を共有する関係者を限定する、(4)不審な乗用車への警戒を怠らない、(5)モニタリング体制や緊急時の連絡手段を整備する、などを徹底する必要があります。



7月11日、メキシコ州政府が盗難された燃料のタンクを運んでいたトラックを発見。犯罪組織が利用するトラックも盗難車であり、通常数回使用した後、乗り捨てられる。この2ヶ月で1,700台以上が盗難されている。
(写真:AP/アフロ)



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html